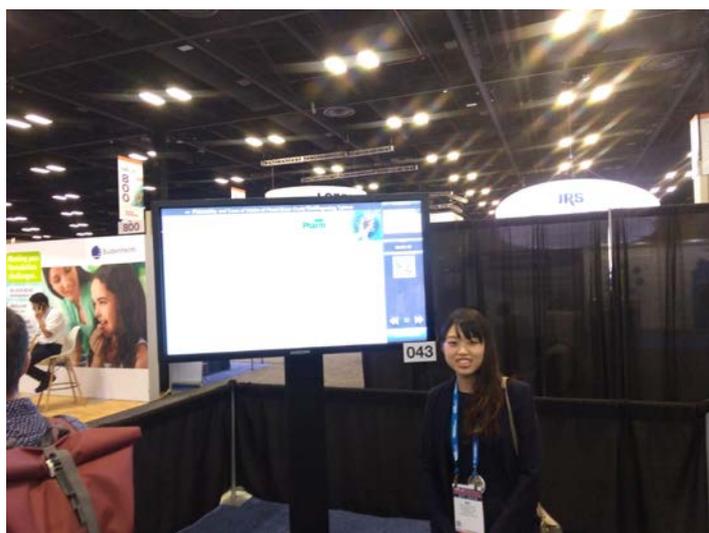


AAPS 2019 PharmSci 360 にてポスター発表

2019年11月3日から6日にかけてアメリカ合衆国テキサス州サンアントニオで開催された American Association of Pharmaceutical Scientists 2019 PharmSci 360 に参加しました。本学会にはアメリカだけではなくヨーロッパやアジアなど世界各地から多くの学生や研究者が集まり、DDS、製剤開発、臨床薬理などの幅広い分野における最新の研究結果が発表されていました。

私は「Palatability and ease of intake of fixed-dose orally disintegrating tablets (配合口腔内崩壊錠の服用性および飲み込みやすさ)」という題目でポスター発表を行いました。配合剤と口腔内崩壊錠 (OD 錠) は服薬アドヒアランスを向上させることが知られており、それらを組み合わせた製剤である配合 OD 錠はさらにアドヒアランスを向上させることが期待されます。しかし、配合 OD 錠は臨床現場ではほとんど使用されておらず、その特性も明らかではありませんでした。そこで配合 OD 錠についてさまざまな評価を行い、配合剤や OD 錠よりも臨床的に優れた製剤であることを定量的に明らかにしました。

本学会では多くの参加者と議論を交わし最新の知見を得ることができましたが、英語で海外の研究者と議論する難しさを痛感しました。国際的に研究者として活躍するためには英語のコミュニケーションスキルを向上させる必要があると実感しました。今回、たいへん貴重な機会を与えていただいたことに深く感謝し、英語力の向上や研究に励みたいと思います。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 博士後期課程3年
実践薬学講座 外山 真衣